

入庁してからこれまで

飯塚支部 飯塚県土整備事務所 佐伯雛

飯塚県土整備事務所道路維持課維持係の一員として働くようになってから今まで、とても早かったように思います。

私がこの仕事についたのは、公務員になるという漠然とした将来設計があったことと、大学で土木学科に所属していたことが理由です。土木職があるならそれで入ろうと思い、仕事内容についてあまり調べることなく県の土木職員になりました。

4月1日の辞令交付式のことは今でもはっきりと覚えています。飯塚県土整備事務所が配属先と聞いて、まず家から事務所までかかる時間を調べました。検索結果を見て、心拍数が上がりました。そこには1時間半前後の時間がずらりと並んでいました。明日からこんなに朝早い時間の電車に乗って通勤するのかという不安な気持ちになりました。今ではもう早く起きることに慣れましたが、入庁当初は仕事にも慣れていないうえに毎日早起きで、大学4年間でだらけた生活に慣れてしまった体には本当にきつかったです。

今回自由投稿を選んだのは、1時間かかる福北ゆたか線博多新飯塚間を毎日利用している私の、入庁当初から今までの電車内で感じていたことの変化を書こうと考えたからです。私が毎日利用する電車は朝早いのですが、通勤ラッシュとは逆方向のため、毎朝座ることができます。これが唯一のいいところです。

入庁当初の4月から6月頃は、仕事に関する事全てに慣れていなかったため、周りの乗客の多くが寝ているにも関わらず、私は仕事に行くだけで感じる不安と緊張で目をかっ開いて起きていました。起きていたというよりは寝ることができなかつたという表現が正しいです。何もせずに起きていることもなんとなく落ち着かず、ずっとスマートフォンをいじって過ごしていました。寝ている周りの人たちが本当にうらやましかったです。7月頃になると仕事に行くことは習慣づいており、4月ほど不安や緊張は感じなくなりました。先輩方に助けられながら様々な業務を担当するようになり、日によって今日は気が重いと感じる日もあれば、そうでない日もありました。気が重い日にはスマートフォンをいじって過ごし、そうでない日には眠ければ寝て過ごすようになりました。10月頃になると半年がたち、仕事に行くということにかなり慣れていたと思います。この頃には電車に乗る人たちの顔も何となく覚え、この人はいつもここに座っているな、あの人はこの駅で乗ってくるな、など同じ電車の人の多くが知り合いかのように感じるくらい顔や特徴を覚えていました。仕事も慌ただしかった夏が過ぎ、少し落ち着いていたので、朝の電車でもほとんど不安な気持ちなどは感じずに過ごしていました。そして、ほぼ一年がたった今では毎日目を瞑って過ごしています。もちろん気が重い日もありますが、寝ることができなくても何も考えずに電車での時間を過ごすようになりました。むしろ、好きなことができる1時間として気に入っています。実は、朝私が乗る車両に毎日いびきをかいて寝ている人がいます。私の目標は

いびきまでは行きたくないですが、その人くらい朝の電車で仕事のことを気にせずに爆睡することです。

この1年間は本当に早かったです。様々なことに慣れるための1年だったと思います。町中の道路を通っているときに、今までまったく気にしていなかった道路の状態や工事看板がよく目に入ってくるようになり、ほんの少しではありますが、私も土木に染まったなど感じる場合があります。仕事をしていく中での時間の経過が早く、これが特に印象に残っているというような思い出はありませんが、大変なことも、達成感を感じたこともたくさんあったと思います。私にとっては仕事を通して経験したすべてのことが新鮮で、不安で、それらが勉強になりました。これからも新しいことに触れる機会が何度もあると思います。来年は今年よりはほんの少し成長した余裕のある自分になっていることを願って、朝の電車ではたくさん寝て、仕事に対して感じたことを今年より少しでも多く覚えていられる1年になればいいと思います。